

佐倉市地域公共交通計画基礎調査について

令和5年7月28日

目次

• 1	地域公共交通計画基礎調査について	2
• 2	計画見直し全体の流れ	3
• 3	計画見直しの方針について	4
• 4	現況調査・分析の実施内容	6
• 5	アンケート調査・OD調査の実施概要	7
• 6	今後のスケジュールについて	12

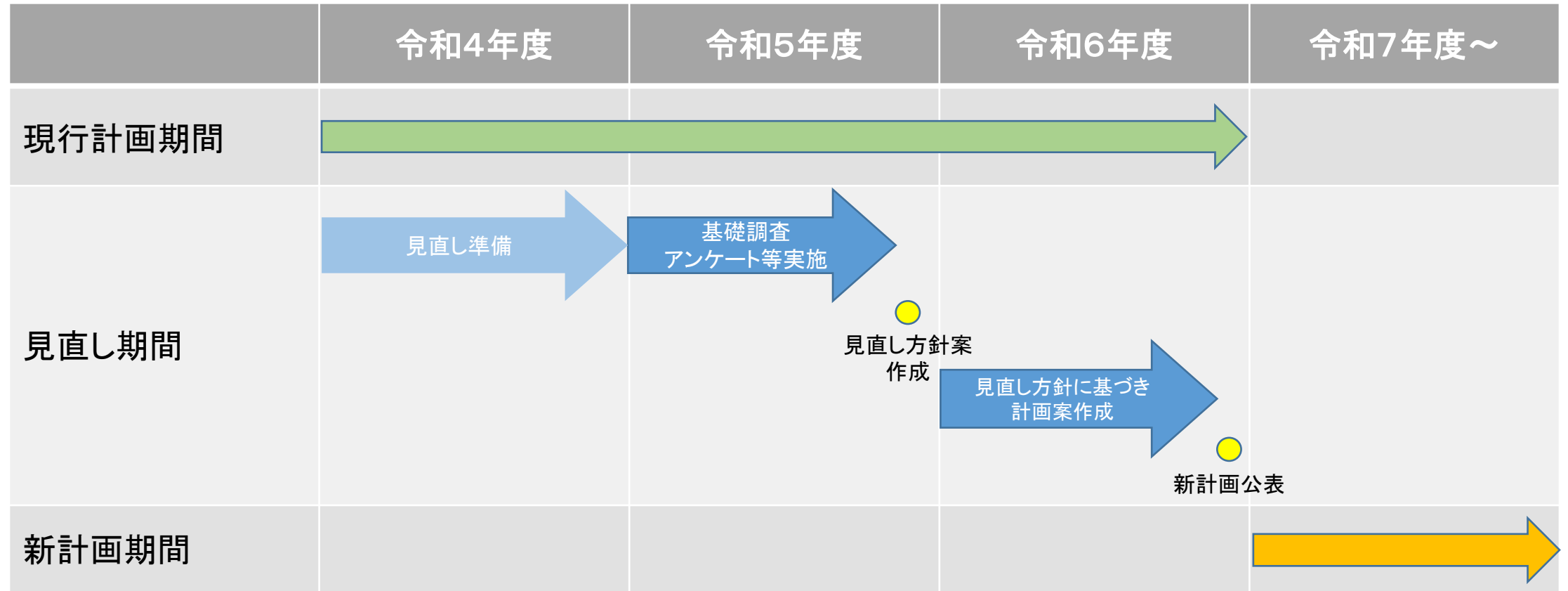
1 佐倉市地域公共交通計画の策定について

■計画策定の背景とその目的

- 持続可能な公共交通網の形成を目的として、2017年（平成29年）に佐倉市地域公共交通網形成計画（第1次）を策定し、交通空白地域の解消などの公共交通に関わる課題に取り組んできました。
- 現行計画（第2次）が2024年度（令和6年度）末に計画期間を満たすこと、また、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が2020年（令和2年）11月に改正したことを受け、新たな計画として、地域の運送サービスの持続可能な提供に係る基本方針である「佐倉市地域公共交通計画」を策定する必要があります。

市内の公共交通の利便性を向上させ、効率化を図り、少子高齢化などによる交通需要の多様化に対応した持続可能な公共交通体系へと発展させることを目的として策定します。

2 計画見直し全体の流れ



3 計画見直しの方針について

(1) 現行計画と新計画の違い

	現行計画 (地域公共交通網形成計画)	新計画 (地域公共交通計画)
計画の対象	・バス路線などの専ら公共交通のネットワークの確保・充実(主に路線の再編や新規整備)を対象とする	・ネットワークの確保・充実に加え、ダイヤや運賃などの面からもサービスを総合的にとらえ改善や充実に取り組む ・地域の輸送資源を総動員する具体策を盛り込むことができる
位置づけ	・地方公共団体による作成が可能	・地方公共団体による作成を法的に努力義務化 ・基本的に全ての地方公共団体において計画の作成や実施に取り組む
実効性担保	・可能な限り具体的な数値指標を明示 ・原則として計画期間の終了時・計画の見直し時に達成状況を評価	・定量的な目標の設定や毎年度の評価などの仕組みを制度化 ・定量的なデータに基づくPDCAの取組を強化

地域公共交通計画等の作成と運用の手引き(入門編) 抜粋

3 計画見直しの方針について

(2) 社会情勢の変化や現行計画の取組みを踏まえた計画の見直し

■ 現計画策定時の状況

公共交通に求められる役割	
①日常生活に必要な移動手段 ②観光振興 ③高齢者等の健康増進への寄与 ④渋滞緩和・環境負荷の低減	
佐倉市の現状	公共交通のニーズ
○地域状況: まちづくりの方向性(コンパクトな都市構造) 少子高齢化の進行、自家用車への依存、道路混雑 等 ○公共交通の現状: 利用者の停滞・減少、交通空白地域の存在 乗務員不足 等	○全体: 公共交通の宣伝、公共交通以外の移動手段の活用 ○バス: 運行情報の充実、定時性の確保、バスマップの充実 公共施設へのアクセス、停留所の環境整備 ○タクシー: 料金設定、配車サービスの導入

■ 現行計画の取組み実施

・コミュニティバスの導入(飯重・寺崎ルート)、城下町周辺地区拠点内循環バスの運行、運賃割引の導入、待合環境の整備 等

■ 計画見直しのための現況調査・分析の実施(令和5年度)

現行計画策定時からの佐倉市の現状や公共交通のニーズの変化について、統計的なデータ整理やアンケート調査等により把握し、公共交通を取り巻く重点課題を更新

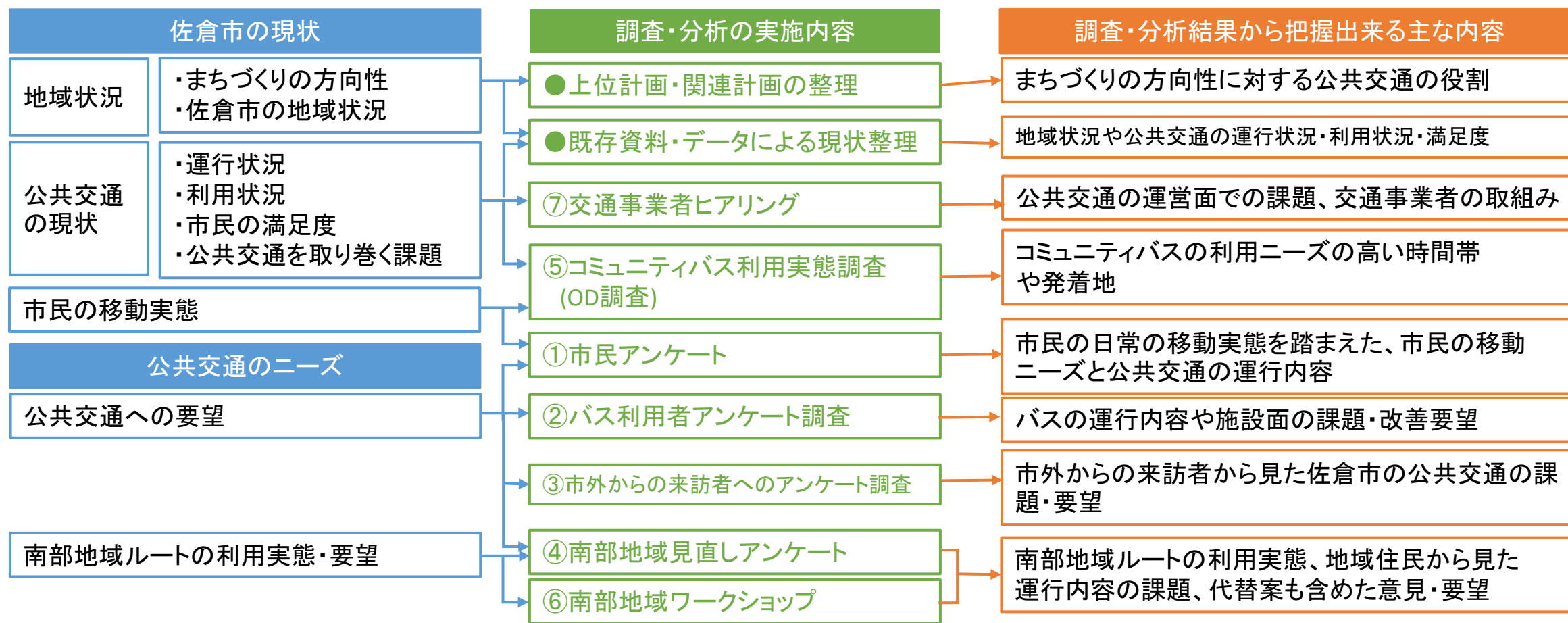
■ 社会情勢の変化

・人口動態の変化、新型コロナウイルスの影響 等

→ 地域公共交通計画の策定(令和6年度)に反映

4 現況調査・分析の実施内容

佐倉市の現状や公共交通に対する市民や来訪者のニーズを把握するために、上位計画・関連計画や統計データ等による現状整理を行い、あわせてアンケート調査(①～④)、OD調査(⑤)、ヒアリング等の意見聴取(⑥、⑦)を実施



5 アンケート調査・OD調査の概要

①市民アンケート調査（※調査票A）

市民の日常の移動実態や公共交通の利用状況、公共交通に対する意見・要望等を調査

✓ 調査対象 佐倉市に住民票を有する15歳（高校生）以上を対象

✓ 配布数 3,000世帯（1世帯当たり平均2名の解答を想定、6地区※に500部ずつ配布）

※佐倉地区・臼井地区・志津地区（北部・南部）根郷地区・千代田地区

✓ 調査方法 対象者に郵送し、郵送・オンラインにより回収

項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	・住所 ・年齢 ・性別 ・職業 ・免許の保有状況 ・自動車の運転継続意向	○属性別の傾向把握 ・後続の質問で把握する、公共交通の利用実態や要望等の回答とクロス集計し、地区別、年齢別等の属性別のニーズを把握
移動実態 （通勤通学、買い物、 通院別）	・移動先の所在地 ・移動先の施設名称 ・移動手段 ・移動時間帯 ・移動頻度	○移動に関するニーズを踏まえた施策検討 ・市民のライフスタイルに応じた移動実態を把握することにより、コミュニティバスの運行内容の見直しや路線バスの利用促進等の施策の検討に活用
公共交通に関する 意見・要望	・公共交通を利用しない理由 ・自動車以外の代替移動手段 ・公共交通の運行で希望する目的地	○公共交通の改善内容・利用促進策の検討 ・利用者の意見を踏まえた施策検討

5 アンケート調査・OD調査の概要

②バス利用者アンケート調査（※調査票B）

バス利用者を対象に路線バス及びコミュニティバスの利用実態、改善事項等の意見・要望を調査

- ✓ 調査対象 京成佐倉駅、臼井駅、ユーカリが丘駅、志津駅、JR佐倉駅の5鉄道駅バス停の利用者
- ✓ 配布数 3,000票（京成佐倉駅・臼井駅・ユーカリが丘駅・志津駅・JR佐倉駅の5鉄道駅バス停の利用者に各駅で、平日400票（計2,000票）、休日200票（計1,000票）配布）
- ✓ 調査方法 バスの乗車待ちしている対象者に調査票を配布し、郵送・オンラインにより回収

項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	・ 住所 ・ 性別 ・ 年齢 ・ 職業（学生、会社員等） ・ 免許の保有状況	○属性別のバス路線の利用傾向やニーズの把握
移動実態	・ 利用したバス路線 ・ 乗降停留所名 ・ 移動目的 ・ 移動目的地（施設名称） ・ 移動頻度 ・ 移動時間帯 ・ バス以外に利用する公共交通	○バス路線の利用状況の把握
バス路線に関する 意見・要望	・ 路線バスやコミュニティバスの 改善を期待する機能 ・ バスや、公共交通全体に対しての意見	○公共交通の改善内容・利用促進策の検討

5 アンケート調査・OD調査の概要

③市外からの来訪者へのインターネットアンケート（※調査票C）

市外からの来訪者の公共交通の利用実態や公共交通に関する意見・要望を調査

- ✓ 調査対象 首都圏(1都3県)在住者で、過去1年間に佐倉市に来訪した人
上記の中で佐倉市内の路線バス、コミュニティバス、鉄道駅を利用した人
- ✓ 回収数 300票程度
- ✓ 調査方法 インターネットアンケートを使用し、オンラインにより回収

項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	・ 性別 ・ 年齢 ・ 職業(学生、会社員等)	○属性別の移動傾向やニーズの把握
移動実態	・ 来訪目的 ・ 来訪目的地(施設名称) ・ 来訪頻度 ・ 来訪時間帯 ・ 利用した交通手段(バス、鉄道、自家用車等)	○市外からの来訪者のバス路線の利用状況の把握
路線バス・ コミュニティバス について	・ 路線バスやコミュニティバスの満足度 ・ 路線バス・コミュニティバスを 利用しなかった理由 ・ 改善による佐倉市への再来意志 ・ 路線バス、コミュニティバスに対する意見	○公共交通の改善内容・利用促進策の検討

5 アンケート調査・OD調査の概要

④南部地域見直しアンケート調査（※調査票D）

南部地域ルートの利用実態、地域住民から見た運行内容の課題、代替案も含めた意見・要望を調査

- ✓ 調査対象 佐倉市の和田地区、弥富地区に住民票を有するもの
- ✓ 配布数 和田地区・弥富地区の全世帯（訳1,400世帯）に配布（1世帯当たり平均2名の解答を想定）
- ✓ 調査方法 対象者に郵送し、郵送・オンラインにより回収

項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	・住所 ・年齢 ・性別 ・職業 ・免許の保有状況 ・自動車の運転継続意向	○属性別の傾向把握 ・後続の質問で把握する、公共交通の利用実態や要望等の回答とクロス集計し、地区別、年齢別等の属性別のニーズを把握
移動実態 （通勤通学、買い物、通 院別）	・移動先の所在地 ・移動先の施設名称 ・移動手段 ・移動時間帯 ・移動頻度	○移動に関するニーズを踏まえた施策検討 ・市民のライフスタイルに応じた移動実態を把握することにより、コミュニティバスの運行内容の見直しや路線バスの利用促進等の施策の検討に活用
南部地域ルートの 利用実態・意見・要望	・南部地域ルートの認知度、利便性 ・鉄道駅周辺への移動実態 ・路線バスへの乗り継ぎの利用状況 ・デマンド交通等を含めた意向	○南部地域ルートの運行内容の改善検討 ・便ごとに行先が変わることに対する改善内容 ・鉄道駅や路線バスへの乗り継ぎ先 ・デマンド交通等を含めた見直し検討
公共交通に関する 意見・要望	・公共交通を利用しない理由 ・自動車以外の代替移動手段 ・公共交通の運行で希望する目的地	○公共交通の改善内容・利用促進策の検討 ・利用者の意見を踏まえた施策検討

5 アンケート調査・OD調査の概要

⑤コミュニティバス利用実態の把握(OD調査)

コミュニティバス路線について、路線別、便別の利用特性を把握するため、停留所間のODを調査

✓ 調査対象 コミュニティバスの全ルート全便

南部地域ルート：2台

その他4ルート：各1台

✓ 調査方法 調査員1名がバスに乗車し、目視にて項目に沿って各乗客の記録をする（平日1日、休日1日実施）

項目	質問内容	結果の主な活用方針
利用者属性	・性別 ・年代5区分 ①小学生、②学生(中・高・大)、③一般 ④高齢者(概ね70歳以上)、⑤障がい者)	○属性別の便ごとの移動需要の把握 ○運行頻度の変更により影響を受ける需要の推定等
移動実態	・乗車、降車のバス停 (自由乗降区間での乗降は次のバス停に計上)	○移動需要の高い乗車場所・降車場所の把握 ○時間帯毎の運行頻度の見直し検討

6 今後のスケジュールについて

